

食品用 機能性ヒアルロン酸 ヒアロナノ[®]

肌においてヒアルロン酸とは

- ・皮膚の構成成分です。
- ・肌のハリや潤いを保つ成分です。
- ・加齢と共に減少します。

商品名	由来	用途	表示名※1	保証期間※2 (保存方法)	包装形態	平均分子量※3
ヒアロナノ [®]	発酵法	健康飲料 栄養補助食品	「ヒアルロン酸」、「ムコ多糖」	24 ヲ月 (常温)	100g×1 1kg×1	約 2,000

※1 本品にアレルギーに関する特定原材料等 27 品目は含有しておりません。本品は食品添加物です。

※2 保証期間は製造後未開封状態での期間です (1 ヲ月は30日として換算)。

※3 平均分子量は目安であり、規格ではありません。



キユーピー株式会社 ファインケミカル本部

本 社 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-4-13
※2013年10月15日より下記に仮移転
〒182-0002 東京都調布市仙川町2-5-7 仙川キユーポート
大 阪 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町10-8
<http://www.kewpie.co.jp/finechemical/>

TEL 03-5384-7779
TEL 06-6369-3388

ヒアロナノ[®]

規格及び分析値一例

商品の特徴

キュービーの「ヒアロナノ[®]」は独自技術で低分子化したヒアルロン酸です。素早く吸収され、肌の炎症軽減が期待できます。
※本品は既存添加物名簿収載品目における「ヒアルロン酸」に適合しております。

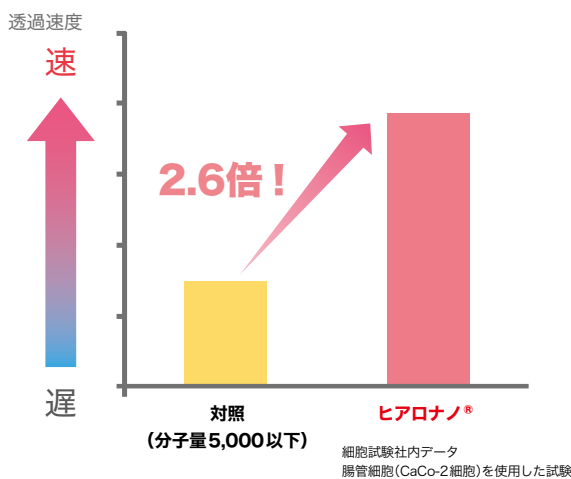
	規 格	分析値一例
性 状	本品は白色～淡黄色粉末で、わずかに特異なにおいがある。	適
確認試験 (1)	本品の水溶液 (1→1000) 10mL に塩化セチルピリジニウム溶液 (1→20) 2～3 滴を滴加するとき白濁を生じる。	適
(2)	本品の水溶液 (1→10000) 1mL に硫酸 6mL を加え、水浴中で 10 分間加熱し、冷後カルバソール試液 0.2mL を加えて放置するとき、液は赤色～赤紫色を呈する。	適
pH	3.5～5.5 (0.1+100)	4.2
重 金 属	20ppm 以下	20ppm 以下
ヒ 素	2ppm 以下	2ppm 以下
溶血性連鎖球菌	連鎖球菌を認めない。	検出せず
溶 血 性	赤血球が沈殿し、上澄液は透明である (溶血性を認めない)。	適
定 量 値 (グルクロン酸)	35%以上	44%
◆ヒアルロン酸	95%以上	98%
水 分	10% 以下	4%
粗 脂 肪	0.2% 以下	0.1%以下
強熱残留物	20%以下	13%
動 粘 度	2.0mm ² /s 以下 (5% ,30℃)	1.1mm ² /s
一般生菌数	300 以下 /g	20以下/g
大 腸 菌 群	陰性/0.1g	陰性/0.1g
カビ・酵母	100 以下 /g	50以下/g

◆：弊社独自の методによる
(ヒアルロン酸 (%)…乾燥物中、ヒアルロン酸またはヒアルロン酸塩として
= 100 - 蛋白質 (%) - 粗脂肪 (%) - 単糖 (%) の式より求める)

有効性データ

<吸収速度の確認>

腸管細胞へのヒアルロン酸透過速度

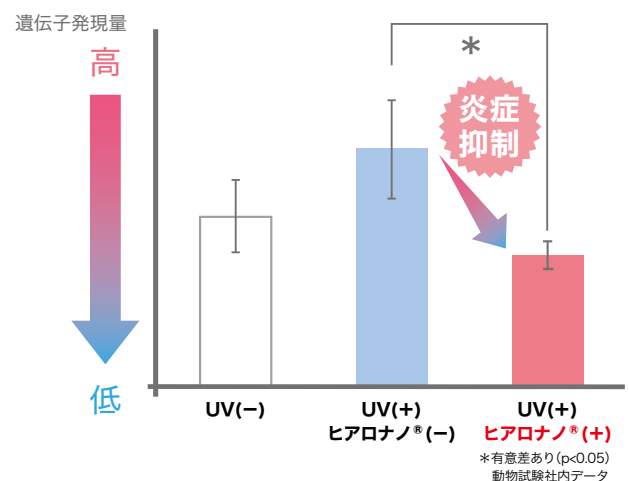


ヒアロナノ[®] は、分子量 5,000 以下のヒアルロン酸と比較し、吸収速度が速いことが確認されました。

<肌の炎症因子の確認>

動物 : 雄ヘアレスマウス (6 週齢)
試験群 : UV(-) 対照群、n = 5
UV(+) 対照群、n = 6
UV(+) ヒアロナノ[®] (200mg/kg·BW) 群、n = 6
試験方法: マウスに試料を 7 日間経口投与し、投与 7 日目に、UV (80mJ/cm²) を照射後、皮膚の炎症因子の遺伝子発現量を確認した。

炎症因子 (IL-6) の発現量



ヒアロナノ[®] 摂取により、紫外線照射による肌の炎症が抑制される可能性が確認されました。

安全性

急性毒性 : ラットでの経口 LD₅₀ は、2,000mg/kg 以上
変異原性 (Ames) : 陰性